

取扱説明書

分配弁

LV-10*C-20

この分配弁は、DV及びDW形分配弁やグリースガンなどと組み合わせて送られてきたグリース（又はオイル）を口数に応じて定量分配するものです。

1. 主仕様

分配弁は吐出口数によって各形式に分類されます。

形式	口数	1口当りの吐出量	最高使用圧力
LV-108C-20	8口	0.16 cm ³ /stroke	21 MPa
LV-106C-20	6口		

2. 構造、作動説明（図-1を参照下さい。）

LV-108C-20の場合は、4本のピストンが図-1のような関係になります。（実際の吐出口①と②は隣り合わせています。）

供給口よりグリースが入り込み加圧すれば、ピストンAが左に動いて吐出口①から定量吐出します。

ピストンAが動いて開かれた通路により、次にピストンBが左に動き吐出口②から吐出、続いてピストンCが左に動き吐出口③から定量吐出します。同様にピストンDが右に動き吐出口④より吐出します。

ピストンA～Dが以上と対称の作動を順次行って、残りの吐出口⑤～⑧より定量吐出して1サイクルを終わります。

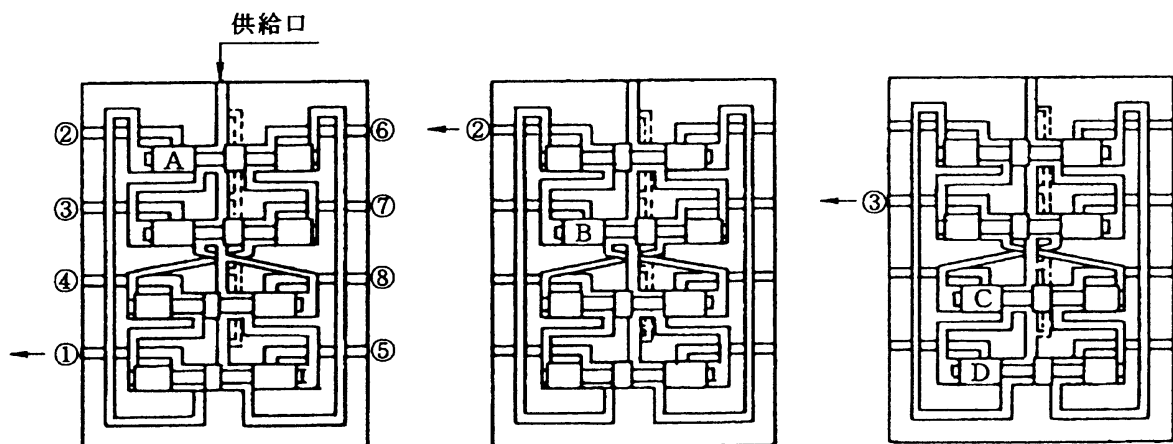


図-1

3. 取扱注意事項

- 1) この分配弁は、進行作動形機構であるため、吐出口にプラグしないで下さい。吐出口のいずれかをプラグすると作動しなくなります。
- 2) 吐出口数を減らして使いたい場合、吐出量が2倍必要な場合は、集合アタッチメント（T320-2）を使用します。
- 3) LV-106C-20は、本体に吐出口調整用バイパスピストンを内蔵し、吐出口をプラグしています。このプラグ部分に配管接続は出来ません。
- 4) 吐出口から軸受までの配管はφ6×0.8 t銅管を使用し、長さは5m以内となるよう計画して下さい。
- 5) この分配弁に作動不良が生じた場合は、ほとんどがゴミによるものです。ピストンを抜き出して本体と共に洗油でよく洗浄して下さい。
- 6) 分配弁取り付けの際には、あまり大きな力で締め付けしないで下さい。ピストンや本体に歪みが生じて作動不良の原因になることがあります。